

# 【指標】子どもたちが安心して、楽しく学習できる学校へ

たつの市立龍野小学校

## 1. 目標

子どもたちが安心して学習したり、友だちとかかわったりでき、「学校が楽しい」といえる学校環境へと改善する。

## 2. 指標

### (1) いじめ、子どもどうしのトラブルについての組織的対応

- 迅速な対応をする。当事者及び該当の子どもから正確な事実確認する。(※思い込みや決めつけを絶対しない。) 情報を得た時点で方針を決定し、対応する。
  - ・情報を得た教員⇒複数での対応⇒生徒指導担当教員⇒管理職

複数の教員で対応した後、速やかに管理職に報告し共通理解を図ること

- 加害者と被害者の意識にずれがある場合は、把握した状況を十分に検討し、関係機関とも連携の上、慎重に対応する。

・「情報を得た教員・生徒指導担当教員・管理職」⇔教育委員会、関連機関

- 重大事態については、関係機関と連携の上、慎重に対応する。

### 【未然防止に向けて】

目標：子どもたちとの会話を心がける。必要に応じて正しく指導する。

#### 「朝」

- ・校門に立ち、あいさつを通じて登校してくる子どもたちの様子を確認する。
- ・教室で登校してくる子に声かけをする。(雑談を心がけ、友だちとの関係に目を配る)

#### 「授業中」

- ・子どもたちが自ら考える授業や対話の生まれる授業への改善
  - ※対話の様子を観察することで、普段との違い、友だち関係を探る機会とする。
- ・授業を担当していない教員による校内巡視をする。(朝から1校時を中心に)

#### 「隙間となる時間への対応」

- ・移動教室(例：理科、家庭科など)は、担任から、専科担任へと引き継ぐ。
- ・休憩時間は、子どもたちと接しながら過ごすことを奨励するとともに、運動場など見えにくい場所では、校舎内外から観察する教員をおく。

#### 「生活アンケートの実施」

- ・各学期に1回、アンケートを実施し、実態把握に努める。
  - 学級担任⇒生徒指導担当⇒(管理職も参加するいじめ対応チームで共通理解)

## (2) 教員の対応

### 【被害を受けた子への対応】

- ・ つらい気持ちを受け入れ，事実を確認する。
- ・ 不安を取り除くように努める。

### 【被害を受けた子の保護者への対応】

- ・ 速やかに正確な事実を伝え，今後の対応について，本人と保護者の思いを聞き，誠意ある対応を心がける。
- ・ いじめを防止する方法について保護者と協議するとともに，家庭との連携を図る。

### 【保護者からの相談への対応】

- ・ 必ず丁寧に事実確認をする。
- ・ 事実確認ができない場合は，保護者には理解を求めるとともに，引き続き見守っていくことを伝える。

### 【加害者への対応】

- ・ 傾聴する態度で，事実関係について確認する。
- ・ その子の行為に至った経緯を理解しておく。
- ・ いじめは決して許されないことであることに気付かせる。
- ・ 継続的に必要な指導（確認）を行う。

### 【加害者の保護者への対応】

- ・ 速やかに正確な事実を伝える。
- ・ 保護者の心情を理解し，思いを聞く。
- ・ いじめを防止する方法について，保護者と協議する。
- ・ 被害を受けた子への謝罪について話し合う。

### 【学校・学級の子どもたちへの対応】

- ・ 傍観的態度ではいけないことに気付かせる指導をする。（学級指導，道徳）
- ・ 当事者意識をもてるように働きかける。

## (3) 子どもどうしの人間関係を育むために

- ・ 異学年交流活動を取り入れ，日頃から学年の異なる子を理解する気持ちを育む。
- ・ 担任との学習だけでなく，地域施設や地域の方が学習に参加できるように努め，楽しみながら学習できる環境にする。